

「市長とじっくりトーク」を8月に初開催しました

市内で働く保育士9人と市長が、子育て世帯を取り巻く状況の変化や、保育士の仕事環境に関して意見交換をしました。



いただいた意見の一部はこちら！

「長時間保育の子が増えている一方、保育士の数は減っていると感じる」

「子育て世帯の保育士は、自分の子を朝7時に預けて夜7時以降に迎えに行かなければならない。仕事を続けていくためには家族の助けや働いている保育園の理解が不可欠だと思う」

テーマはウィンタースポーツ、冬季オリンピック・パラリンピック招致

「第2回サッポロスマイルトークを開催します」

長野オリンピックスキージャンプ団体金メダリストの原田雅彦氏らと市長の対話を自由に聞くことができます。会場では、フロアカーリング体験などでもできるのでぜひお越しください。

日時10/14祝15時～16時30分。フロアカーリング体験コーナーは13時～17時
会場サッポロファクトリー(中央区北2東4)アトリウム

無料・申し込み不要

市長とじっくりトークとは？

市民の皆さんと市長が、市政に関するテーマについて、率直に意見交換。今後のまちづくりへのアイデアを見つけていく取り組みです。



あきもと 秋元市長

市民の皆さんと市長が対話した内容などを紹介します。

詳細 市民の声を聞く課 ☎211-2042

防災コンポイント

いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から知っておいてほしい情報を紹介します。

詳細 危機管理対策室 ☎211-3062

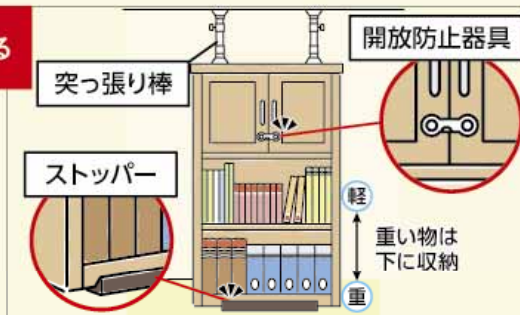
今回は

家具の固定と配置の工夫

地震によるけがの3割～5割は、家具の転倒や物の落下によるものです。地震後は、食器やガラスの破片が散乱し、家具の倒れ方によっては逃げ道をふさがれてしまう場合も。もしものときに備え、危険な場所がないかを点検してみませんか。

家具は固定、扉もしっかりロックする

突っ張り棒で家具を固定するほか、家具の下にストッパーを挟むとより倒れにくくなります。また、収納物が飛び出すことを防ぐためには、扉や引き出しを外側から固定する器具も有効です。



寝床や出入り口の方向に倒れないように家具を置く

家具は寝床に倒れてくる可能性がある場所を避け、出入り口から離しておくか、倒れてもドアを開くスペースを確保できる位置に配置します。